



未来を夢見て

2020/9/8 No. 33

子供たちに 生きる力を育むために

9月7日、月曜日の昼休みは、またまた熱中症対策のために子供たちには外遊びを我慢してもらいました。自分が子供の頃を思い出し、(この時間を楽しみに登校してきた子供たちに申し訳ないなあ)、と思いつつ校庭を眺めていました。

するとマリーゴールドにきれいなベニシジミが止まっていた。マリーゴールドと同じオレンジ色の羽が特徴的で、子供たちは外に出られません、元気に花の周りを飛んでいる姿にしばし目が奪われました。

先週の金曜日、5年生の主任の後藤愛恵先生が24日に行われる花山の野外活動のしおりを届けてくださいました。本来であれば2泊3日の予定だった野活です。一番残念に思っているのは、5年生の子供たちと先生方だと思いますが、「体験しよう 自然 深めよう 絆!」のテーマのもと、日帰りでも存分に活動して無事戻ってくることを願っています。

同じ日に、コンピュータ教室で、5年3組の子供たちがプログラミングに取り組んでいました。素材はスクラッチで、「スクリプト」を作成し、アニメーションを動かしたり、音を出したりしていました。流石5年生、コンピュータの操作に慣れている子が多く、事前に青砥先生から出された課題をどんどんクリアしていました。このような子供たちの能力の高さには本当に驚かされます。プログラミングも今回の学習指導要領改定の目玉の1つでした。

コロナ禍の中で、あまり話題になることはありませんでしたが、小学校では4月から新しい学習指導要領での教育課程の実施となっています。

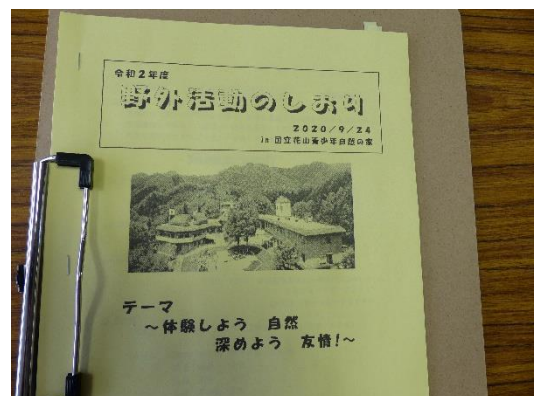
今更ですが、今回の総則の改正は

- ① 資質・能力の育成を目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- ② カリキュラム・マネジメントの充実
- ③ 児童の発達支援、家庭や地域との連携・協働の重視の3つが要点です。

※今回作成中の通信票の各教科の評価の観点が「3観点」になったことも、この①と関連しています。

今回の改訂でも、これまで同様、最終的には子供たちに生きる力を育むことが私たちの目標です。そのために、全ての教科等の目標及び内容が「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱で再整理されました。

やや固い話が続きましたが、一番下の写真。3年生の廊下の雑巾掛けです。3年生の先生方がどんな力を子供に身に付けさせたいか、とてもよく伝わってきます。こういった何気ない日常の積み重ねや今全職員で力を入れている挨拶も、実は子供たちに生きる力を育むことに他ならないのではないのでしょうか。



(文責：手代木)